
2019 年度 日臨技中四国支部研修会

「臨床微生物部門研修会」開催案内

主 催：(一社)日本臨床衛生検査技師会 中四国支部

実務担当技師会：鳥取県臨床検査技師会

【テーマ】AMRを知り AMRを制す

【日 時】2019年9月28日(土)14:00～29日(日)12:30

【場 所】鳥取大学医学部保健学科 アレスコ棟6階 262 講義室
鳥取県米子市西町86

【定 員】80名

【受講料】会員3,000円 非会員5,000円

【申し込み期間】2019年7月10日(水曜日)～8月20日(火曜日)予定

【申し込み方法】日臨技ホームページ内の会員専用サイト(事前参加登録)から申し込みください

【生涯教育】専門30点

【日 程】

《1日目》9月28日(土)

13:30 受 付

14:00 開講式／オリエンテーション

14:10 講演1 『中村流、耐感トレーニング！～完全マスター、グラム陰性桿菌の薬剤耐性～』
講師：京都橘大学健康科学部臨床検査学科 中村 竜也 先生

15:20 休 憩

15:30 講演2 『迅速遺伝子検査による Syndromic Approach はASTに役立つか？』
講師：ビオメリュー・ジャパン(株)臨床営業本部 営業学部 竹井 真一先生

講演3 『AMR時代における Diagnostic Stewardship』

講師：日本ベクトン・ディッキンソン(株)事業部マーケティング部 吉田 武史 先生

16:45 休 憩

17:00 講演4 (仮)『AMRアクションプランはどこまで達成できているのか』

講師：厚生労働省健康局結核感染症課 嶋田 聡 先生

18:00 1日目終了

19:00 情報交換会

《2日目》9月29日(日)

9:00 講演5 『臨床医が求めるAST-検査技師の役割は』

講師：鳥取大学医学部附属病院 感染制御部 千酌 浩樹 先生

10:10 グループディスカッション 『ASTで物言う検査技師になろう』

アドバイザー：鳥取大学医学部附属病院 感染制御部 千酌 浩樹 先生

鳥取大学医学部附属病院 検査部 森下 奨太 先生

11:20 ランチョンセミナー 『CDI検査のフローチャート・薬剤耐性遺伝子の検出における
迅速核酸増幅法の活用例について』

講師：ベックマン・コールター(株)営業推進部 スペシャリスト 堂浦 照也先生

12:30 閉会式

研修会事務局

〒682-0804 鳥取県倉吉市昭和町 150

鳥取県立厚生病院 中央検査室 前田 望

Tel : 0858-22-8181 FAX : 0858-22-1350

Emai : kobyochuuoukensa2@pref.tottori.jp

緊急連絡先：参加が決定されました方に個別にご連絡いたします。

【会場案内】

JR を利用される場合

- 米子駅から徒歩で 15 分
- 米子駅から米子市循環バスで 8 分
- タクシーで 5 分

自家用車を利用される場合

- 国道 9 号線 加茂町 2 丁目交差点を 境港方面（米子駅方面の反対方面）へ 500 メートル



